

ブースの資料を活用しよう！

文責・茂野

サークルのブースには膨大な量の書籍・DVDがあります。どこに何があるかわかりますか？ 四つの保管場所について、以下に簡単にまとめてみました。

①DVDロッカー

→主な資料としては筑波のショーと連盟の発表会のDVD、クローズアップレクチャーDVDのファイル、ジャグリングレクチャーDVDのファイル、そしてショーおよびコンベンション・TV番組等のDVDファイルなどがあります。

②ビデオテープ保管所

→DVDロッカーの隣の隣です。レクチャービデオやショーのビデオなどがあります。大部分はすでにDVD化してありますが、中にはまだしていないものもあります。現在もDVD化作業は進行中です。自分もDVD化作業をやりたい！という人はご連絡を。

③書籍棚

→悲しいかな、この棚は現在、大部分がマンガで占められています。なんとかその中の一区画でマジックの本が粘っている状態です。ここの棚は東京堂出版の「事典」系および「入門シリーズ」、荒木一郎、松田道弘など、比較的メジャーなものが多いですが、中にはニューゼネレーション+αみたいなちょっぴり珍しい本もあります。そして忘れてはいけないのが秘密の青いファイル。内容は自分で見てね。ちなみに、たくさん貼ってある付箋は宮本さんと中島さんと僕（しげ）がそれぞれ「イイ！」と思ったマジックに貼っているものです。参考までに。

④開かずのロッカー

→ブースの一番右奥にあるロッカーです。扉の前にモップやら椅子やらマテ材料やらが置かれて開かずの扉状態です。どかしてもどかしてもすぐに塞がれます(;^_^) 中身はというと…これがすごいものなんのって。「ターベルコース」全巻、「H.ライスのシルクマジック大事典」全巻、「奇術研究」たくさん、「掌パーム」たくさん…他にもたくさんのレクチャーノート、石田天海賞の本、天海メモ(!)、OBが残したサークルレクチャーノートなどなど貴重書の嵐です。ちょっと深い世界に入ってみたい方は、扉の前の道具類をかき分けてロッカーをのぞいてみるといいかも!? (歴代ドクロ帳でサークルの歴史もわかったりして…?)

裏へつづく (ブース使用に関するお願い)→

ブースの使用方法に関してのお願い

文責・茂野

さて、ひととおり資料保管場所の紹介は終わりました。

しかし！ ちょっと待ってください。

現在それらの資料の扱いといたらホントにホントに酷いもんです。先にも言ったように書籍ロッカーは乱雑に置かれた道具類で開かずの扉と化していることがしょっちゅうですし、中にあるレクチャーノートは乱丁落丁が極めて激しい。あのロッカーの中にはかなり前のOBが一生懸命翻訳した洋書の訳書や、テンドーさんに頂いた貴重な資料がたくさんあるのです。嘆かわしいことではありませんか。

乱丁・落丁は、少しずつですが広い集めて並べ替えてホチキスで留めたりして直してきました。ただ、扉の前の物だけはどうしようもありません。いちおう定期的にどかしているつもりではありますが、またすぐに戻っています。やっぱりマジックの本が取りにくい状態になってるっていうのはよくないと思うわけですよ。ここマジシャンズクラブなんだし。そもそもマンガのほうが市民権獲得してるっていうのも…まあ、言わないでおこう。

別にマンガをあの位置に置くなと言いたいわけじゃありません。

ただ、**ロッカーの扉はちゃんと開く状態にしておこう**よって言いたいだけなんです。資料がすぐに見られる位置にあるかどうかっていうのはマジック自体のレベルの向上に大きく関わると思うよ。

賛同いただける方、どうぞよろしくお願いします。

まとめ（ブース資料活用に関するルールの確認）

①閲覧した資料は元あった場所に戻す。

とくにDVD！発表会DVDは年代順になっています。表を見てきちんと戻してね！

②資料は基本的には持ち出し禁止

…となっていますが、どうしても借りたい時（書籍・DVDなどをコピーしたい時など）は**借りの資料名と日時、名前をドクロ帳に書いて借りちゃいましょう**。ただし、遅くとも次のサークルの時までには絶対返すこと。借りパク禁止！

※一部、持ち出し禁止の本もあります。表紙に「持ち出し不可」と書いてあるものはブースから持ち出さないこと。それと、ブース内にある資料を複製したものをサークル外の人物に無断で譲渡することは厳禁です。（外部に漏れるとちょっとヤバイものもあるため。）

③資料置場はすっきりさせておく！

資料が見たいときにすぐ取り出せるように、ロッカー前などはなるべくきれいにしておきましょうね！**せっかくあるんだから使える資料はどんどん活用しましょう！**